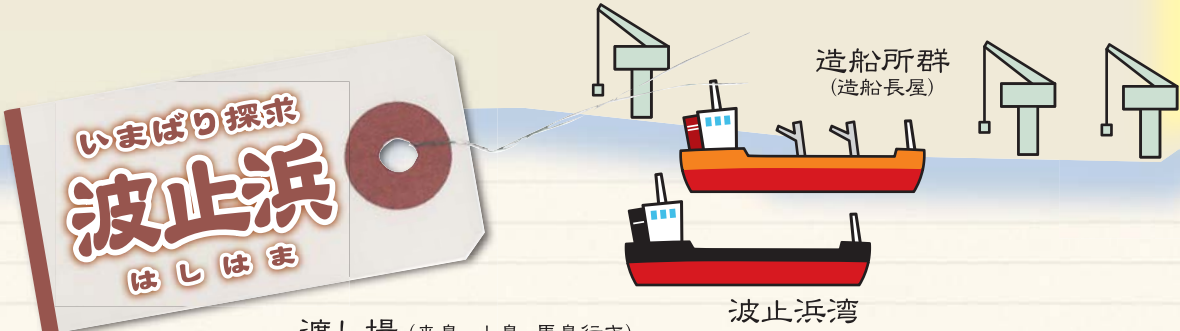


いまばり探求 波止浜

はしはま



塩田の高潮被害の対策で昭和32年に
つくられた

波止浜は、江戸時代の塩田開発で誕生した街で、松山藩有数の港町として繁栄した。明治以降、塩田地主の多くが多角事業を展開し、ここから外航海運業・造船業・金融業・醸造業・ガス事業・印刷業などが起こり、今治の近代産業発展に大きな役割を果たした。



渡し場 (来島・小島・馬島行き)

波止浜港

水門

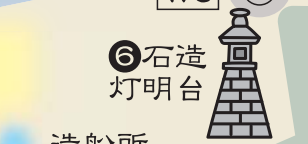


波止浜湾
(水門より内側は
干潮時に
干潟となる)



昭和初年頃の波止浜湾 (絵葉書より)

は、かつて塩田だったところ



⑥ 石造灯明台

造船所
(太平洋戦争末期に竣工した石垣ドライドックが現存)

仲之町通り

かつて塩田地主

西本家

④ 矢野本家

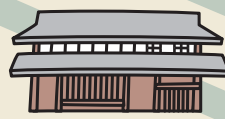
井戸
原家屋敷跡
(土蔵が残る)

かつて塩田地主で印刷会社を創業

問屋町通り



⑤ 丹波屋ハ木家

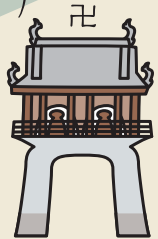


服部家
(旧牧野家)

蓬菜町通り

波方有数の船主住宅を移築

海中鳥居



円蔵寺
(松尾芭蕉の句碑あり)

瑞光寺

本町通り



③ ハ木亀三郎家 旧宅 (馨御殿)

スクラッチタイル
今井家
(タオル会社を創業)

駐在所

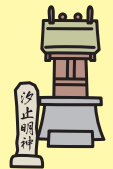


① 龍神社

WC

銀行

汐止明神



波止浜公園
(高浜虚子の句碑あり)

WC

国鉄波止浜駅の開業に合わせて大正末期に整備



ハ木亀三郎の肖像写真 (波止浜公民館所蔵)

移設された明治42年竣工の石造アーチ橋



神明橋

WC

銀行

自動車教習所

波止浜公民館

波止浜小

←波止浜公園